

MEGA FRICTION ボールデータ

この記事は、米ボウリング雑誌『Bowlers Journal International』の許可を得て、翻訳・掲載しております。本記事の著作権は発行元の Luby Publishing Inc. に帰属し、許可なく転載・複写・転送等することは禁止されております。

This translation of article is provided by DAIFUKU QubicaAMF under the permission of Luby Publishing Inc. Copying/Duplicating/Modifying of this article without the permission by Luby Publishing Inc is prohibited.

⇒ ボウラーズ ジャーナル インターナショナル

2009年3月号より

ボールデータ

カバーストック	F81 リアクティブ
コア	コードコア
カラー	ディープブルー / マリブル-
表面仕上げ	1000 番アブラロン
慣性 (RG)	2.502
フレアポテンシャル	RG 0.042
コンディション	ヘビー
重さ	12 - 16 ポンド



コア ... コアは対称コアを使用。RG は中程度の 2.51 で、 RG は 0.042 です。我々のテストで、3.5 インチと 4.5 インチのレイアウトでは 5 インチものフレアトラックを確認しました。6 インチピンでは再考 2.5 インチまででした。

カバーストック ... リアクティブカバーは F81 で、これは AMF ラインナップの中では最も強いカバーストックです。表面は 1000 番アブラロン仕上げになっています。箱出し状態では、オイルが終わったところからの反応は穏やかですが、ポリッシュされたときは、その反応が若干強まります。

メーカーのコンセプト ... AMF のエリック・トーマス曰く “率直に言えば、とにかく大きく曲がるボールを作りたかったんです。” カバーストックの強さがこのボールを特別なボールにしています。アブラロンの 360 ~ 4000 番の間でテストした際、オイル上でのこのボールの摩擦力は平均を大きく上回っていました。

テスト結果 ... 全くそのとおり、メガフリクションはとにかく曲がります。このボールはたくさんの板目をカバーすることができ、キャリアダウンにもとてもよく対応します。ピンアクションは、高回転テスターのときに一番良い結果を出しました。中回転テスターのときは、まれにリリースミスをする、ピンのリアクションが鈍るときがありました。しかし、ボールを中程度ポリッシュし、ミディアムオイル上で使用したとき、中回転テスターはとても良い結果を出しました。こ

のコンディションでは、手前も難なく走らせることが出来ると同時に、バックエンドで強力なアンギュラーリアクションを得ることができました。我々のピンリアクションとターゲットエリアは、平均を大きく上回っていました。

推奨コンディション ... ヘビー&ロングオイルパターンでは、メガフリクションは十分なフックと早めのブレイクポイントが見られました。高回転プレイヤーは特にこのボールを気に入るでしょう。しかし、低～中回転ボウラーはリリースミスの影響が出易いかもしれません。インサイドから攻めるタイプのボウラーは、ピンとPAPのレイアウトを5インチか6インチにするといいでしょう。逆のタイプのボウラーの場合は、より強めのレイアウトになるよう3～4.5インチが良いでしょう。上記に述べたように、2000番や4000番などのスムーズな仕上げがこのボールに合っていると思いました。またミディアムポリッシュを施すことで、オイルを抜けた後のリアクションが格段に良くなると感じました。